

福祉サービス第三者評価結果報告書【平成31年度(2019年度)】

2020年4月28日

東京都福祉サービス評価推進機構
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 164-0001

所在地 東京都中野区中野4-11-10 アーバンネット中野ビル

評価機関名 特定非営利活動法人NPO専門職ネット

認証評価機関番号

機構 02 一 009

電話番号 03-5913-6417

代表者氏名 松浦 哲哉



以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名	担当分野	修了者番号
	① 荻原勝利	経営	H1202051
	② 佐田紀美子	福祉	H1601073
	③ 須永十三男	福祉、経営	H0201052
	④		
	⑤		
	⑥		
福祉サービス種別	指定介護老人福祉施設【特別養護老人ホーム】		
評価対象事業所名称	同愛記念ホーム		指定番号 1370700252
事業所連絡先	〒	130-8587	
	所在地	東京都墨田区横網2-1-11	
	TEL	03-3625-6391	
事業所代表者氏名	施設長 西村 茂		
契約日	2019年7月18日		
利用者調査票配付日(実施日)	2019年9月19日		
利用者調査結果報告日	2020年3月25日		
自己評価の調査票配付日	2019年7月22日		
自己評価結果報告日	2020年3月25日		
訪問調査日	2020年4月16日		
評価合議日	2020年4月24日		
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	利用者調査は、担当評価者3名により1対1での利用者本人への聞き取り調査を実施した。事業評価に関する職員への周知は、分析シートとともに内容や記入の流れを簡潔にまとめた書面を職員に配付し、第三者評価の理解と記入法等の周知徹底を図った。事業所の特長や独自の取り組み、工夫点などを踏まえ、前回の評価実施以降の改善課題の取り組み状況等にも着目して評価を実施した。		

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。
本報告書の内容のうち、

- { 機構が定める部分を公表することに同意します。
 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
 別添の理由書により、公表には同意しません。

2020年4月28日

社会福祉法人同愛記念病院財団

事業者代表者氏名

同愛記念ホーム

施設長西村茂



No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	理念の実現に向けて組織が一体となって業務運営方法の継続性と業務の標準化に取り組んでいる
	内容	理念・基本方針の実現に向けて、具現化するための「ホームの12の宣言」を明示している。さらに、「業務運営マニュアル」、諸規定を策定し理念や基本方針の実現について、個人の資質に頼るのではなく、組織としての取り組みにより、業務運営方法の継続性と業務の標準化・水準の確保・向上に取り組んでいる。さらに、業務マニュアルは不变なものとせず、委員会活動等を通じて、常に直近の福祉環境や利用者・家族の意向・意見を把握して、適時見直しに努めている。
2	タイトル	一人ひとりの利用者のその人らしさを大切にし、個別のニーズを尊重した支援に取り組んでいる
	内容	介護支援専門員を中心に介護、看護、リハビリ、栄養管理等の職員が連携し、ケースカンファレンスを定期的に開催し、利用者の支援について画一的にならないよう、専門的な見地から意見を出し合い、利用者・家族の要望も反映した施設サービス計画（ケアプラン）の作成に努めている。さらに、居室担当者が利用者と月に1回面接を行ない、利用者の趣味・嗜好・活動に視点を置き、「趣味・嗜好・活動等の実施計画」を作成するなど、一人ひとりの利用者のその人らしさを大切にし、個別のニーズを尊重した支援に取り組んでいる。
3	タイトル	医療・看護との連携のもとで、介護レベルおよびサービスの質の向上に取り組んでいる
	内容	介護老人福祉施設サービスを中心として、短期入所・通所介護・地域包括支援センター・高齢者見守り相談室・居宅介護支援事業等の各種サービス提供に加え、隣接地には同愛記念病院を有し、法人及び関係事業所の総合力を活かして医療・看護との連携のもとで、生活の場としてのサービス提供に取り組んでいる。関係する多職種が連携し、各種委員会活動や身体拘束の廃止や個人別の排尿排便計画の取り組みなど、介護レベルおよびサービスの質の向上に取り組んでいる。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	他職種間の連携・協力体制の充実など、さらなる組織体制の強化に向けた取り組みに期待したい
	内容	法人と事業所の理念・基本計画の実現に向けて人事考課制度の改革に取り組み、キャリアパス、人事考課および役割資格等給制度の導入が進められている。新しい人事考課制度の運用に際しキャリアパスの周知とともに、研修企画委員会が中心となって、職員の育成計画の取り組みが検討されている。今後も継続して、職員の確保・定着、職員の能力向上、他職種間の連携・協力体制の充実など、さらなる組織体制の強化に向けた取り組みに期待したい。
2	タイトル	個別支援の充実やサービスの質の向上へ向けて、業務マニュアルの浸透およびさらなる活用に期待したい
	内容	「業務運営マニュアル」を施設運営の基本的な考え方として位置づけている。知識は個人のものではなく、組織全体のものと認識し、ノウハウ等を各種マニュアルに集約し、業務運営に活用している。そのことは、組織の継続性と業務の標準化の推進につながっている。また、直近の介護環境等の情報を取り入れ、継続的に整備や見直しをしており、生きたマニュアルとしてサービス提供の基本となっている。利用者の個別支援の充実、満足度の向上に向けて、新規採用職員等への浸透、および点検や見直しなどのさらなる活用に期待したい。
3	タイトル	リスクマネジメントのさらなる充実と事業継続計画(BCP)策定・具体化に向けた取り組みの推進に期待したい
	内容	事業所は重要な災害発生時に対しては危機管理・防災対応・緊急時対応などのマニュアルを策定、区の福祉避難所としての指定を受けている。また、地域の複数の町会との防災協定を締結し、緊急時に応する体制を構築している。災害時の食料品等の備蓄や必要な資材を準備しているが、災害や重大な事故等に遭遇した場合の事業継続計画(BCP)の作成及び具体化に向けた取り組みを課題としている。法人の各事業や関係機関との連携・協力のもとで、今後の推進に期待したい。